

## 5 ニーズ調査結果から見る現状

### (1) ニーズ調査の概要

#### ①調査の目的

子ども・子育て支援法第 61 条に基づく計画の策定に向けて、子ども・子育てに関する実態とニーズを把握し、子ども・子育て支援事業計画策定の基礎資料とすることを目的として就学前児童及び小学生の保護者を対象に調査（以下「ニーズ調査」という。）を行いました。

#### ②調査設計

##### ア 調査対象

本市に居住する平成 23 年 4 月 2 日から令和 5 年 11 月 1 日（小学 6 年生から 0 歳）の間に生まれた子どもの保護者全員を調査対象としました。

ただし、複数の児童がいる世帯には、最年少児童についてのみ回答を依頼しました。（1 世帯に 1 枚のみ配布）

調査種類	調査対象	配布数
就学前児童	本市在住の就学前児童の保護者	883
小学生	本市在住の小学生の保護者	684

##### イ 調査期間

令和 5 年 12 月～令和 6 年 1 月

##### ウ 調査方法

調査種類	調査対象
就学前児童	保育園・幼稚園等の通園者は園を通じて配布・回収 未就園者は郵送による配布・回収
小学生	原則、小学校を通じて配布・回収 ただし、一部については郵送による配布・回収

#### ③回収結果

調査種類	配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	883	652	652	73.8%
小学生	684	456	456	66.7%

#### ④結果の見方

- ・結果は百分率（％）で表示し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した結果、個々の比率が合計 100％にならないことがあります。  
また、複数回答（2 つ以上の回答）では、合計が 100％を超える場合があります。
- ・図表中の「n（number of cases の略）」は、質問に対する回答者の総数（該当者質問では該当者数）を示し、回答者の比率（％）を算出するための基数です。
- ・回答者数（n）が少ない場合は、比率の数字に偏りが生じやすく、厳密な比較をすることは難しいので、おおよその回答の傾向をみることになります。

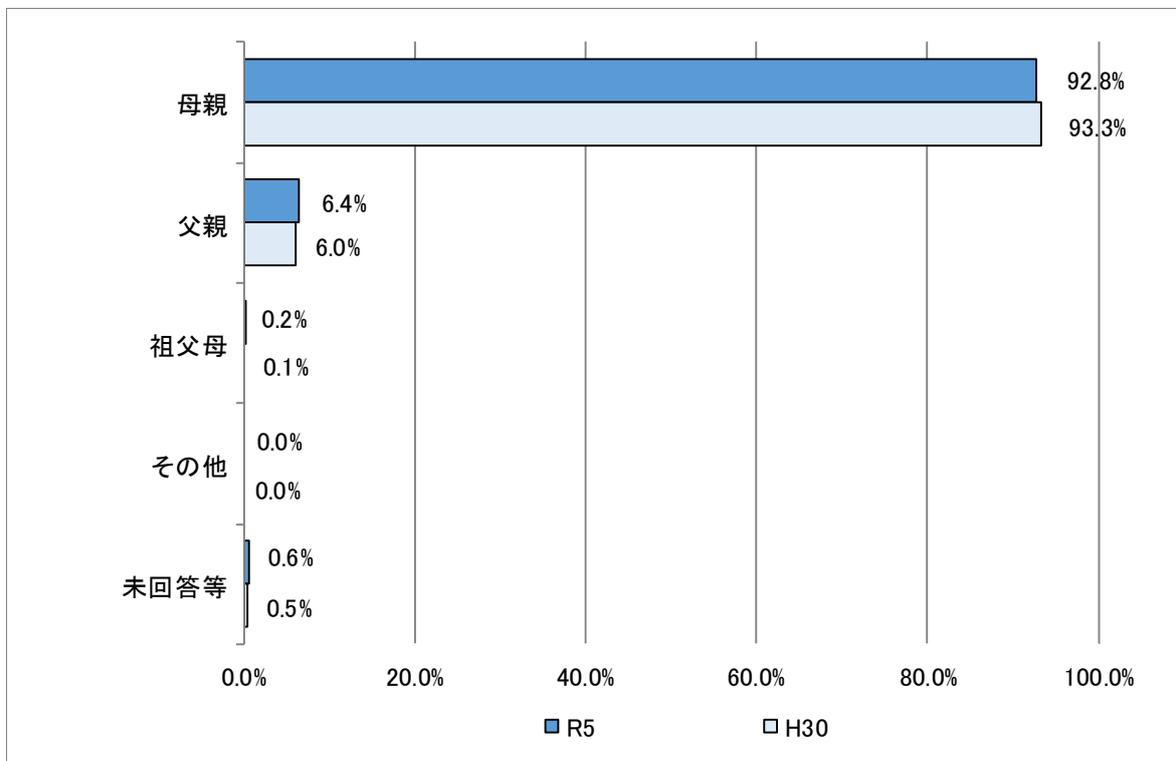
(2) 回答者の属性

①回答者

就学前児童及び小学生調査ともに「母親」が9割前後を占め、回答者のほとんどは母親となっています。

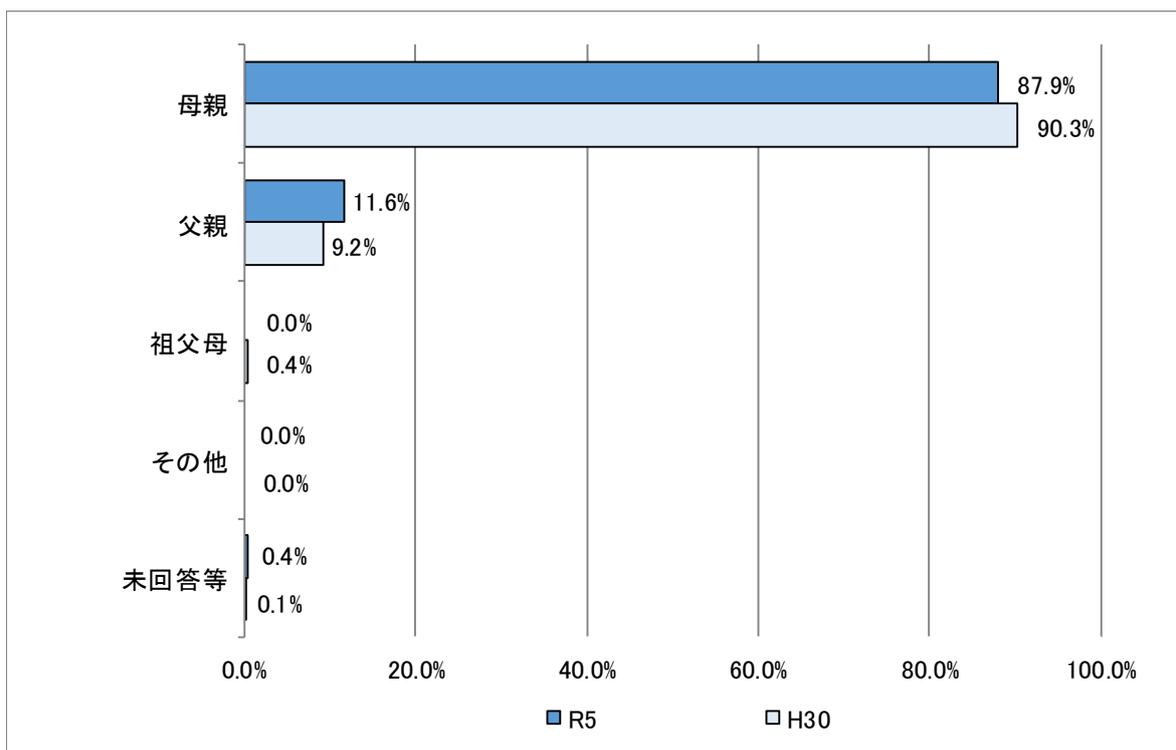
【就学前児童調査】

n=652



【小学生調査】

n=456



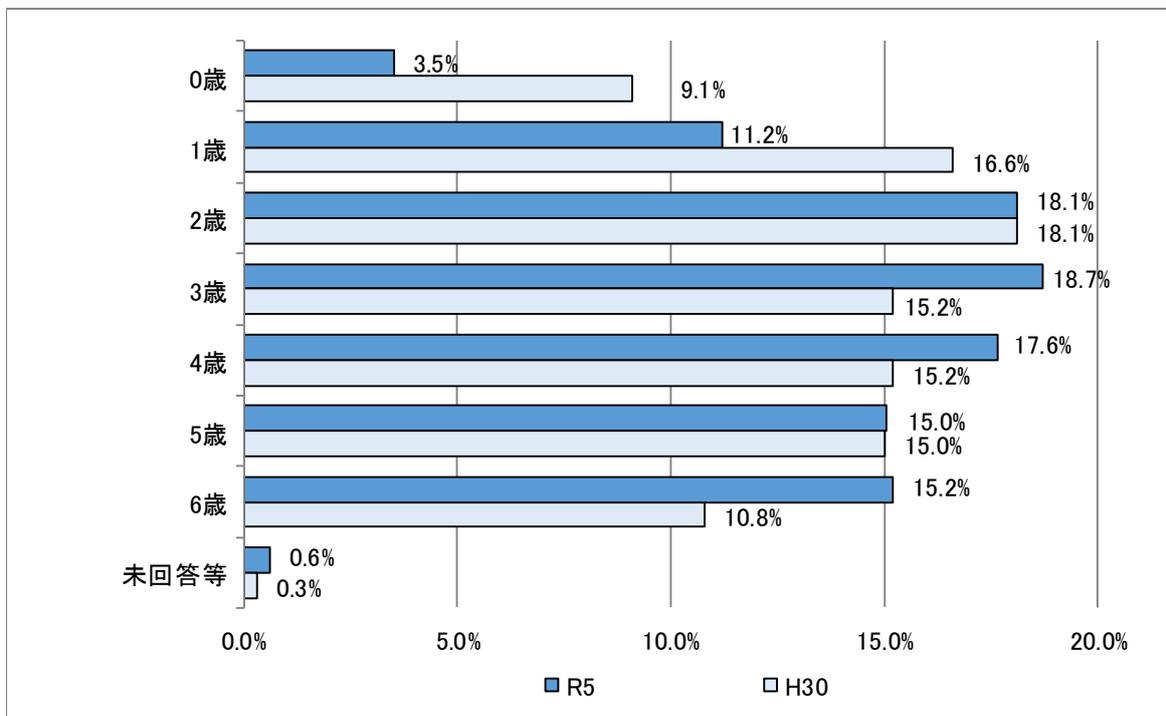
②子どもの年齢・学年

就学前児童調査では、「3歳」(18.7%)が最も多く、次いで「2歳」、「4歳」の順となっています。

小学生調査では、「4年生」(20.4%)が最も多く、次いで「2年生」、「3年生」の順となっています。

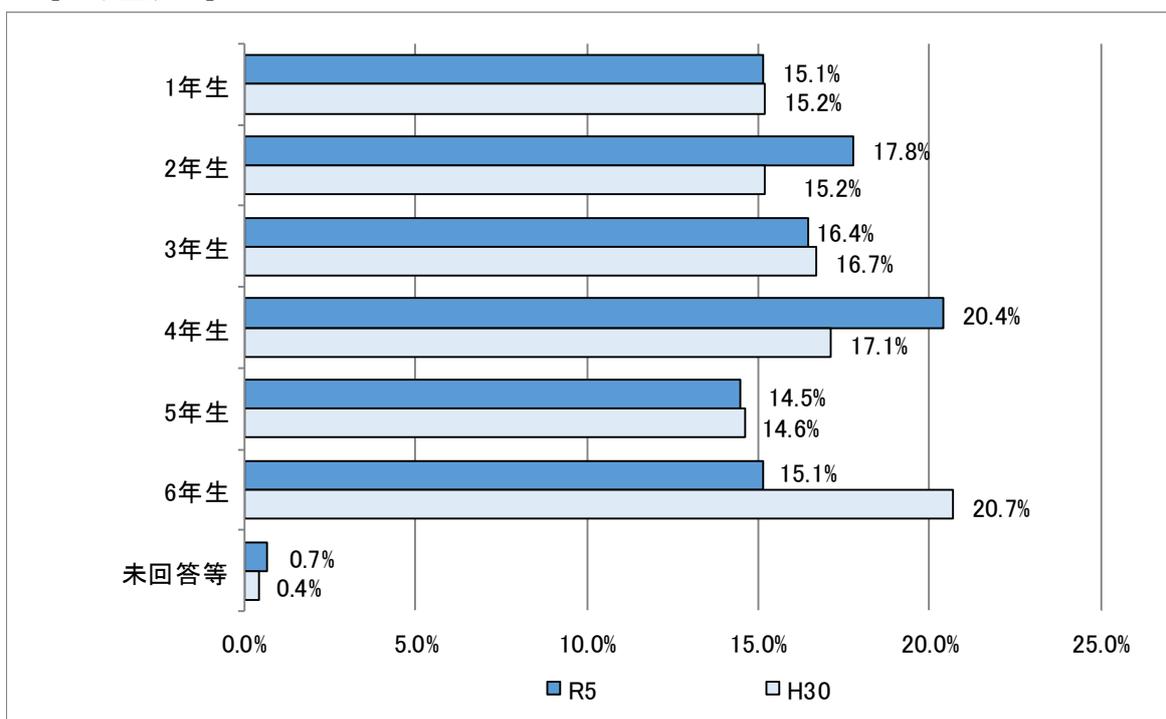
【就学前児童調査】

n=652



【小学生調査】

n=456

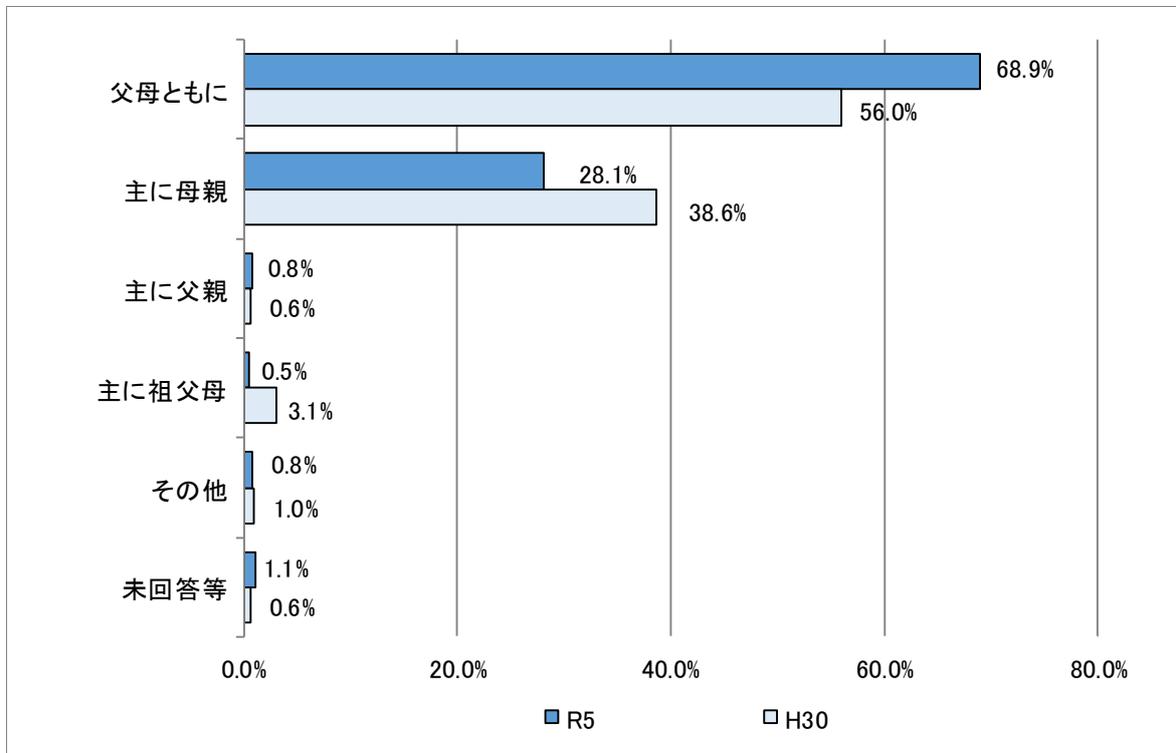


### ③子育ての主実施者

就学前児童調査、小学生調査ともに、「父母ともに」が最も多く、前回調査と比べて約10ポイント上昇しました。

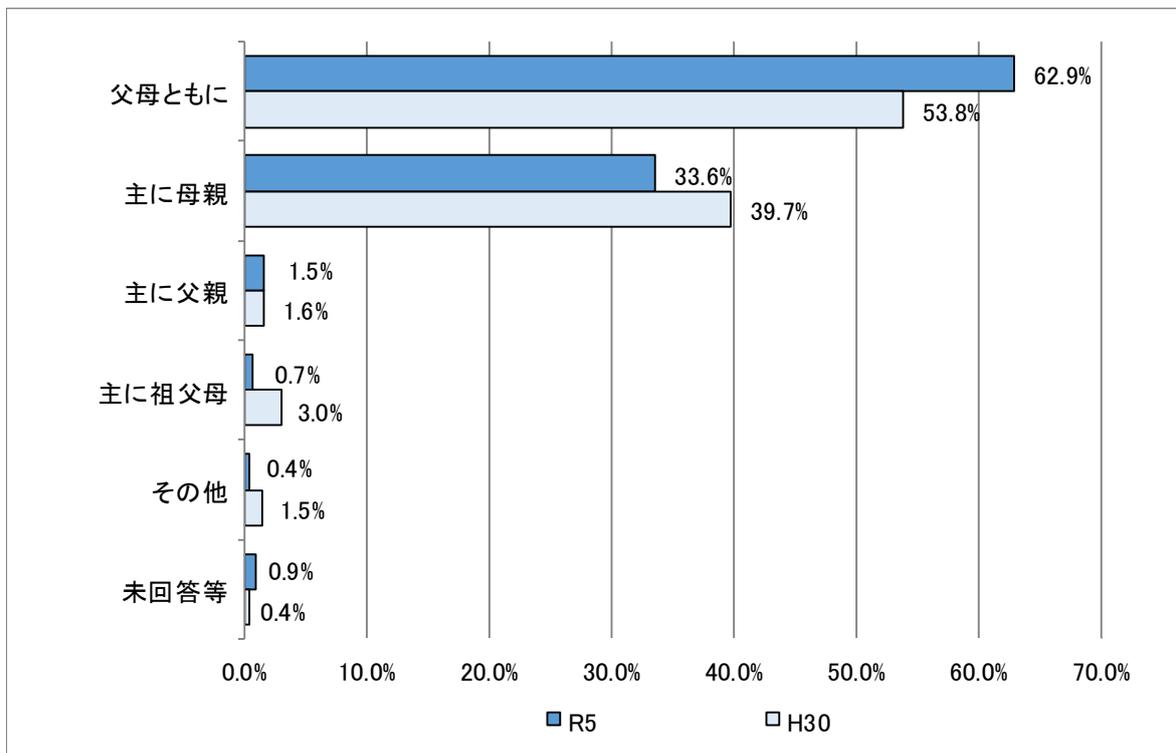
【就学前児童調査】

n=652



【小学生調査】

n=456



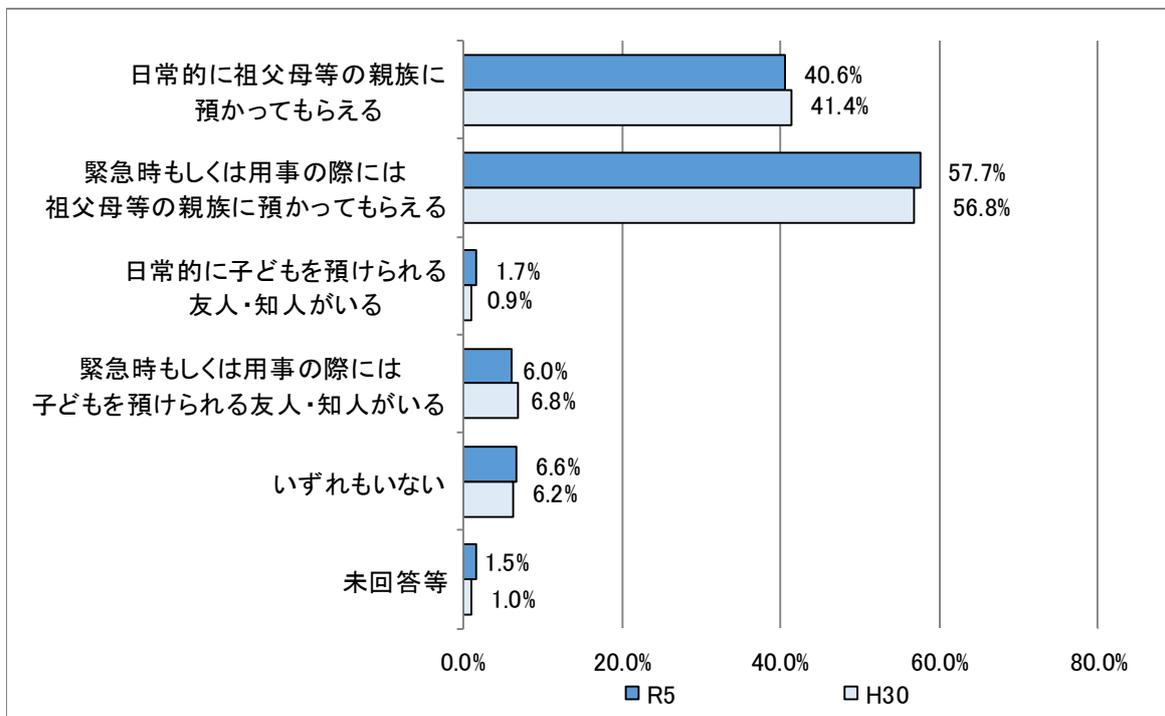
(3) 子どもの育ちをめぐる環境

① 預かってもらえる親族や知人

就学前、小学生のいずれも、ほとんどの家庭で少なくとも緊急時には祖父母等の親族に預かってもらえています。一方で、就学前、小学生ともに6.6%の家庭で預かってもらえる親族、知人等が「いずれもない」と回答しています。

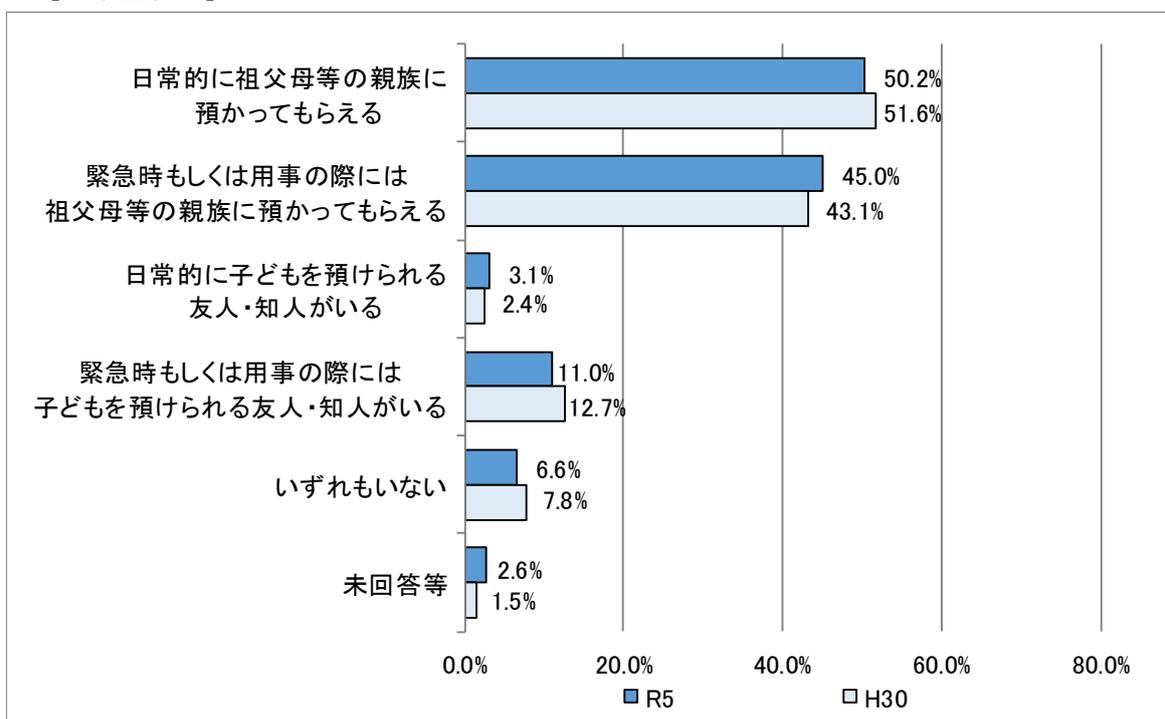
【就学前児童調査】

n=652



【小学生調査】

n=456

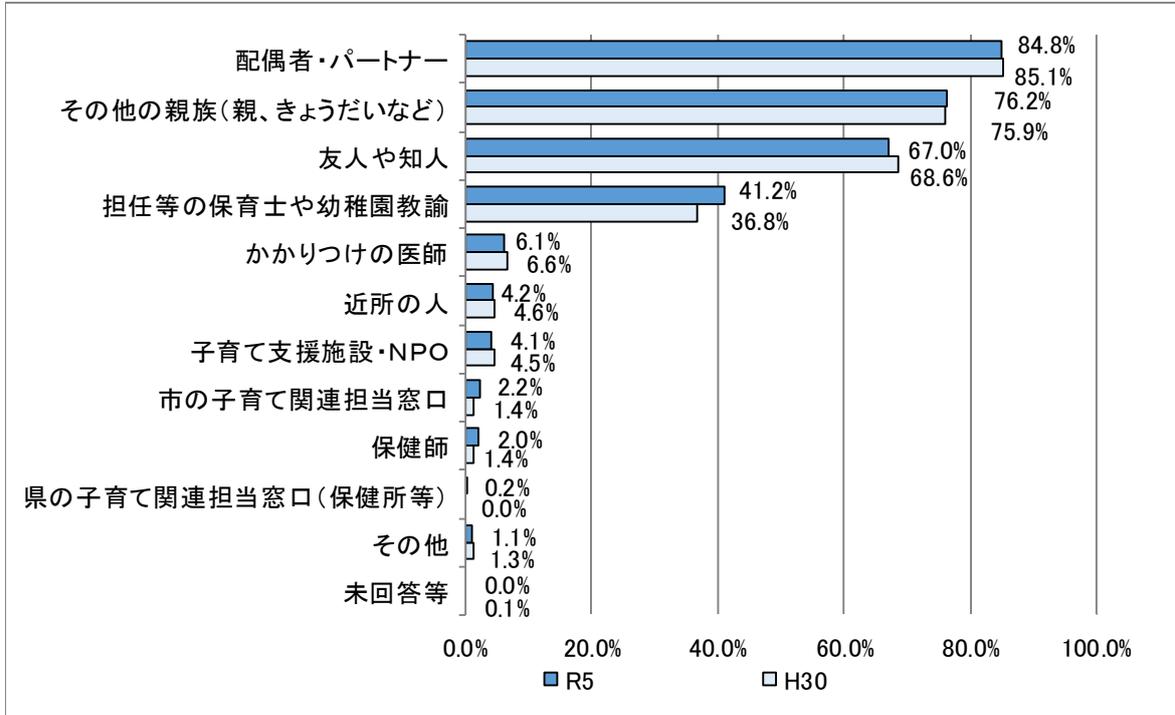


②相談の相手（場所）

相談相手が「いる(ある)」と回答した方のうち、就学前児童調査、小学生調査のいずれにおいても、「配偶者、パートナー」が一番多く、「その他の親族（親、きょうだいなど）」、「友人や知人」が続きますが、「担任等の保育士や幼稚園教諭」は約4割、「担任等の学校職員」は3割ほどにとどまっています。

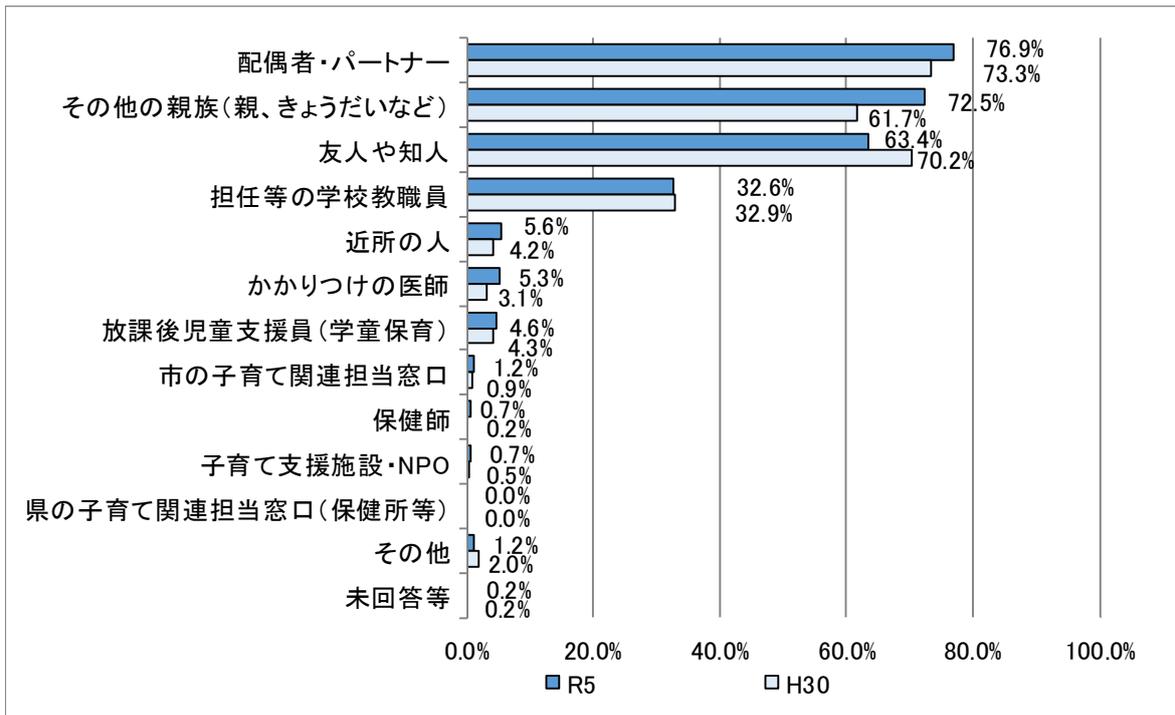
【就学前児童調査】

n=639



【小学生調査】

n=432



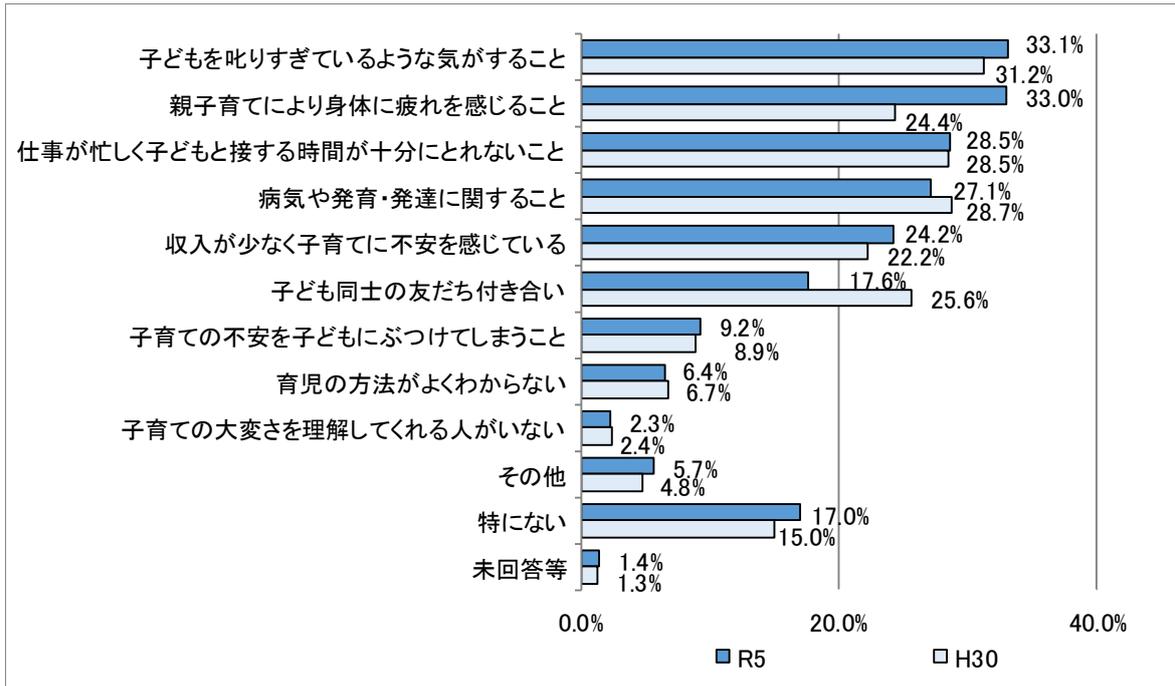
③子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいること

就学前児童調査では、「子どもを叱りすぎているような気がする」と33.1%と最も高く、次いで、「子育てにより身体に疲れを感じる」と(33.0%)、「仕事が忙しく子どもと接する時間が十分にとれない」と(28.5%)の順となっています。

小学生調査では、「子どもの教育・学習に関する」と40.4%と最も高く、次いで、「子ども同士の友だち付き合い」(36.8%)、「仕事が忙しく子どもと接する時間が十分にとれない」と(30.9%)の順となっています。

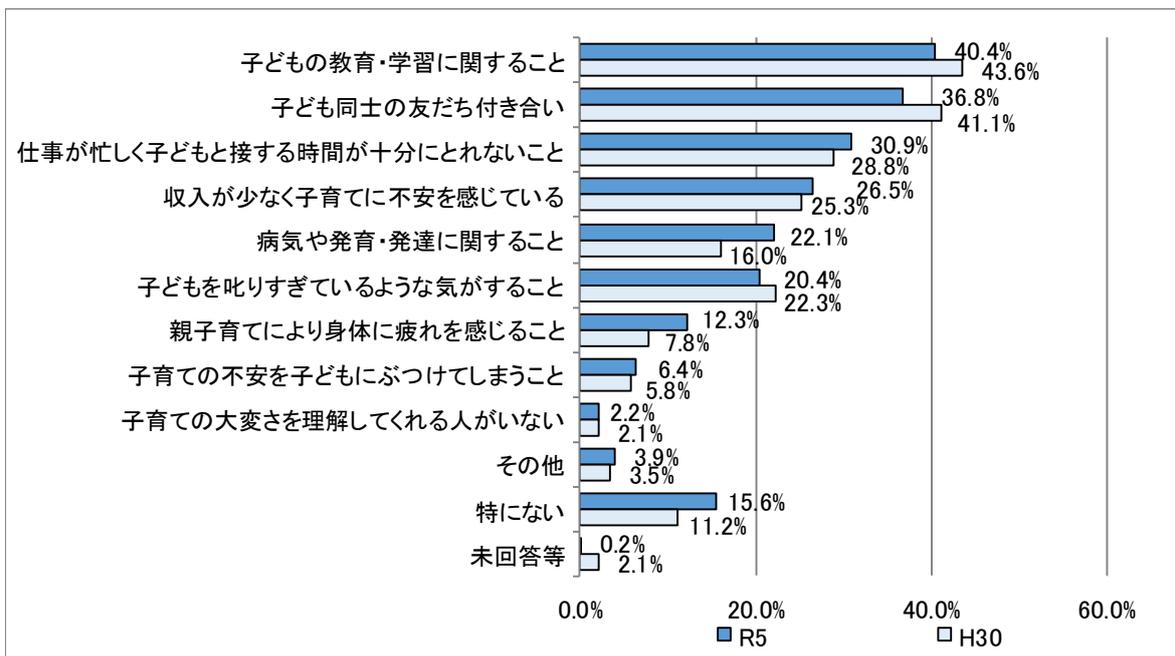
【就学前児童調査】

n=652



【小学生調査】

n=456

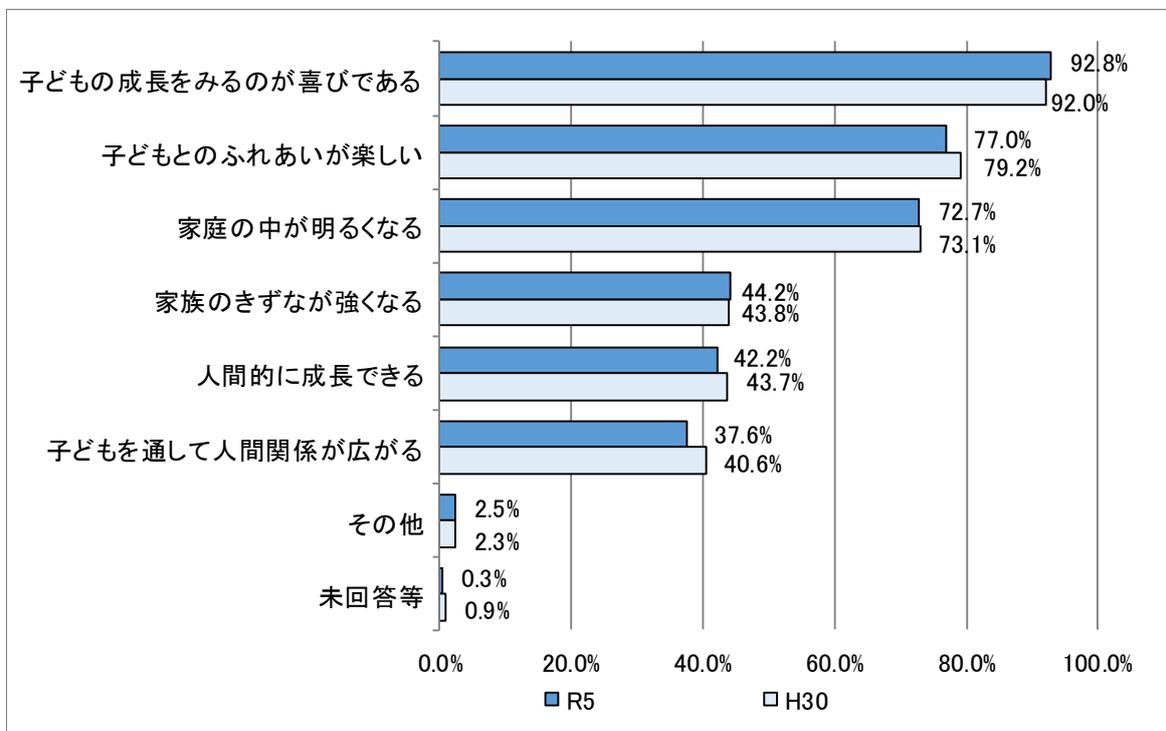


④子育てをしていてよかったこと

就学前児童調査と小学生調査のいずれも、「子どもの成長を見るのが喜びである」が最も高く、次いで、「子どもとのふれあいが楽しい」、「家庭の中が明るくなる」の順となっています。

【就学前児童調査】

n=652



【小学生調査】

n=456

